

都道府県名:神奈川県 団体名:特定非営利活動法人 道志水源林ボランティアの会

地 域

「道志水源林ボランティアの会」の活動拠点、山梨県道志村は、西は山梨県山中湖村、東は神奈川県相模原市と隣接しています。山々を彩る森と林、美しく澄んだ「道志川」がおりなす四季の装いは「清流の郷」として訪れる人々に安らぎを与えてくれます。

横浜市は明治30(1897)年に道志川を水源として取水を開始、大正5(1916)年からは水源環境を守るため村の面積の4割近くを占める水源林を保有しています。以来100年、道志村と横浜市は、村の豊かな自然環境を守り育てるパートナーとして、友好・交流を育み続けています。

経 緯

横浜市が村に保有する水源林は、100年にわたり計画的に管理されてきましたが、村の面積の6割近くの民有林の中には、人手不足等で手入れが行き届かず、水源かん養機能の低下が懸念される山林も生じています。

「道志水源林ボランティアの会」は、「近代水道発祥地、横浜水道のシンボルである道志川の水源を保全し次世代へ引き継ごう」という有志が、平成17年に設立した市民団体です。平成20年にはNPO法人の認証を取得、横浜市・道志村との協働で、村内の民有林を豊かな水源林に再生させる活動を継続しています。 会員数:309人(平成28年5月現在)

功績内容

基本理念「私たちの飲む水と水源の森は、私たち市民が守り育て次の世代へ」のもと

- ① 横浜水道の水源林である道志村民有林の整備活動
- ② 道志村の豊かな村づくりに協力する活動
- ③ 道志村の森林の大切さを学び広める活動

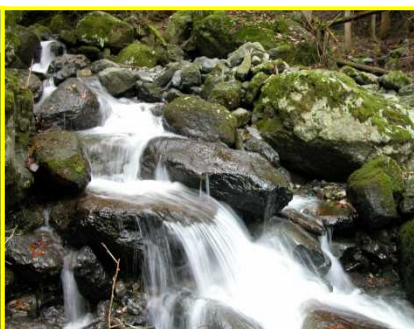
など水資源の直接的な保全活動と、その大切さを人々へ広める活動を活発に継続しています。

会の設立からこれまで(平成27年度まで)の活動実績は

- ・間伐等の整備活動 176回
- ・参加者数 延べ1万2千人以上
- ・間伐本数 2万本以上
- ・整備面積 約50ヘクタール に及びます。



道志村全景



この清流を守るために・・・



水源林の間伐活動へ



班に分かれて担当エリアを整備 作業は《安全第一》



水源かん養林の大切さを市民のみなさんへ